

NZドル／円(4/16) 反発で73円台回復も、74円半ばで上値重いか



コメント

先週の値動き＝週初め堅調な動きで74円台回復も、週末に弱含み73円台で引けた。

今週の指標＝米指標に注目集まる。月曜日、NY連銀製造業景気指数。対米証券投資額。火曜日、米生産者物価指数、FOMC議事録。水曜日、米消費者物価指数。木曜日、フィラデルフィア連銀指数など。また、20日米中首脳会談。21日にG7と、政治的な材料も。人民元関連のニュースには注目。

テクニカル＝ -2σ 近辺からの反発。全般円安が進んでいるものの、74円半ばのトレンドライン近辺では上値が重くなるか。

テクニカル・レート

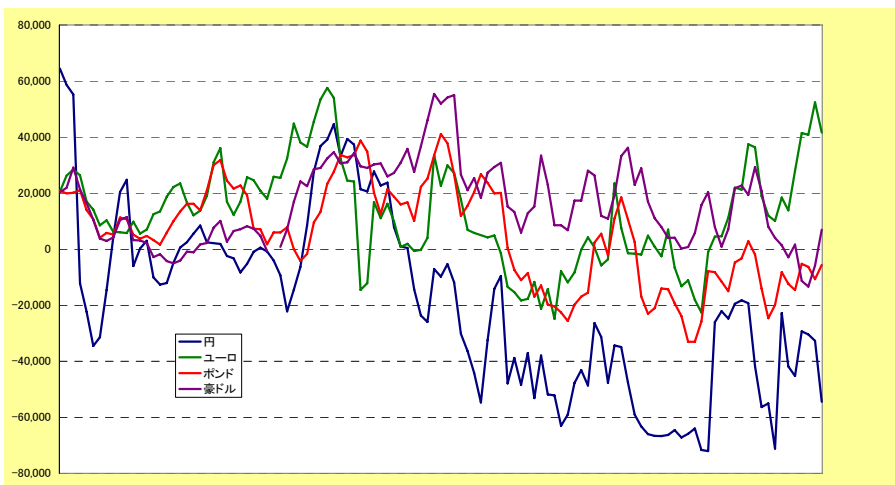
ボリンジャー $+2\sigma$ = 86.35円
 26週移動平均線 = 78.87円
 ボリンジャー -2σ = 71.39円

先週始値 = 71.78円
 先週高値 = 74.10円
 先週安値 = 71.66円
 先週終値 = 73.35円

今週の投資例

トレンド = 下落
 現在値 = 73.35円
 エントリー = 74.50円でショート
 逆指値 = 75.20円
 指値 = 73.50円

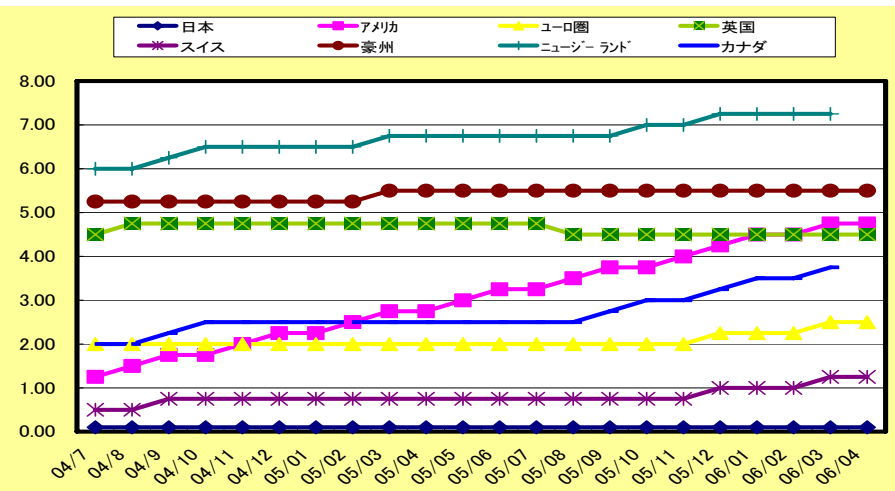
円売り持ち拡大で▲5.4万枚、米金利関連の指標に注目



IMM投機筋ポジション動向

4月11日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲5.4万枚。先週から約▲2.2万枚と大幅に円の売り越しが拡大した。11日のドル円相場は118.11円。直近4月13日は118.67円。円売りポジションが拡大しているか。

市場ははまだ金利差に注目している感もある。今週は米金利に関する経済指標が水曜日まで続く。仮に、今後の米利上げにネガティブなものができれば、円の売り持ちは拡大していることもあり、ポジション調整があってもおかしくない。



各国金利動向

先週の日銀金融政策決定会合は、特にサプライズなし。なぜか、日銀のHPがきれいになっている。

http://www.boj.or.jp/type/release/zuiji_new/k060411.htm

なお、外国為替市場は全般、円安が進んだ。

今週は、金利発表は特になし。ただ、18日に3月に開催された米FOMC議事録が公開される。18日米生産者物価指数、19日に米消費者物価指数も発表。今後の利上げに対する思惑がでそうな模様。